

香川県教員等人材育成方針

～校長及び教員としての資質の向上に関する指標～

1 人材育成方針策定の趣旨

香川県教育委員会では、平成17年3月に「香川県教育基本計画」を策定し、子供が豊かな知性とすこやかな心身を兼ね備えた、たくましい人に育つよう、教育やスポーツに関する取組みを進めてまいりました。一方、近年、学校や家庭を取り巻く環境が大きく変化する中で、子供の学力や学ぶ意欲、基本的な生活習慣、家庭や地域の教育力などの面において様々な課題が生じてきています。

また、公立学校の校長及び教員（以下「教員等」という。）の年齢構成の不均衡と多忙化、教育課題の多様化・複雑化、社会環境の急激なグローバル化・情報化、教育課程・授業方法の改革への対応、*チーム学校の実現等、教員を巡る環境も大きく変化しています。

こうした状況を踏まえ、香川県教育基本計画に掲げた「夢に向かってチャレンジする人づくり」を担う人材を育成するために、人材育成方針を策定することとしました。具体的には、目指すべき教員像を明らかにするとともに、教員等に必要な資質の向上に関する指標を定めることによって、人材育成を体系的、効果的に実施することを目指しています。

*チーム学校…学校現場で生じる様々な課題解決に向けて、学校の教職員をはじめ保護者、地域住民等がそれぞれの専門的知識、技能を活用しつつ、チームとして連携し、協働する学校組織

2 指標の策定にあたって

(1) 目指すべき香川の教員像

本県の教員等は、地元香川を愛し、教育に対する使命感や情熱を持つことはもとより、高い人格、識見や倫理観、教育者としての専門的な知識や技能に加え、個性を生かす教育の実現や社会の変化への対応など、学校教育が直面するさまざまな課題に適切に対応できる資質能力が求められています。そこで、新しい時代の教育に対応できる教員等を育成するために、以下に示す「目指すべき香川の教員像」を掲げました。

教育に対する情熱をもち、素養と資質を備えた教員

- 教育者としての使命感、責任感と教育に対する情熱にあふれ、たくましく生きる教員
- 適切なコミュニケーションによる社会性を有し、豊かな人間性にあふれる子供にとって魅力のある教員
- 素養と資質の向上を目指し、学び続ける意欲を忘れず自己研鑽に励む教員

専門的な知識・技能と指導力を有し、社会変化や教育課題に適切に対応できる教員

- 適切な子供理解により個に応じた柔軟な対応ができ、子供たちの成長を支援する教員
- 専門的な知識や技能に基づく優れた指導力をもった、豊かな教養にあふれた教員
- 社会変化や教育課題に迅速かつ適切に対応するために、創造性や積極性を発揮する教員

連携・協働しながら学校運営に積極的に参画する教員

- 特色ある学校づくりに積極的に参画し、チーム学校の一員として行動する教員
- 教員間、保護者、地域、関係機関等との連携を大切にし、他者と協働する教員
- 安心で安全な学校づくりのための役割を自覚し、連携、協働しながら自分の役割を果たす教員

(2) 指標の位置づけ

指標は、「目指すべき香川の教員像」を基盤として、教員養成を担う大学との共通認識の下、教員等が高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質を明確化することにあります。また、指標は、教員等一人ひとりのキャリアステージに応じて、更に高度な段階を目指す手がかりとなるものであり、自らが絶えず学び続ける意欲を喚起することを可能とする体系的なものである必要があります。

3 指標の概要

(1) 指標の観点

「目指すべき香川の教員像」に基づいて、「素養・資質」、「知識・技能」、「連携・協働」の柱となる3つの観点を定め、さらに各観点ごとにより細かな観点を3つずつ決めました。全部で9つに分けた観点は、指標の内容を定める際のキーワードとなるものです。

(2) 職種について

教諭、養護教諭、栄養教諭、管理職の4つの職種に区分しましたが、柱となる3つの観点に基づく多くの観点は共通しています。これは、本県の指標がそれぞれの立場でチーム学校に貢献できる資質の向上を目指すためのものだということを意味しています。

(3) キャリアステージについて

「基礎期」、「発展期」、「深化期」の3つの段階に区分しました。「基礎期」は採用から6年目までを目安とし、教員としての基礎固めが求められる時期です。「発展期」は7年目から20年目までを目安とし、ミドルリーダーとしての実践と推進が求められる時期です。「深化期」は21年目以降を目安とし、熟練教員としての助言と指導が求められる時期です。「発展期」以降には、指導的な立場や将来の管理職を目指す教員も含まれています。管理職は、副校長、教頭と校長を分けて示すことで、求められる資質能力や職務の違いをより明確に示しています。

職 種		教諭・養護教諭・栄養教諭			管 理 職		
キャリアステージ		基礎期	発展期	深化期		副校長・教頭	校 長
目安となる経年数		1年目～6年目	7年目～20年目	21年目～			
指標の観点	素養・資質	使命感・責任感	教員としての基礎固め	ミドルリーダーとしての推進力	熟練教員としての助言と指導	校長の補佐と他教員への助言と指導	学 校 経 営
		コミュニケーション					
		自己研鑽					
	知識・技能	子供理解					
		学習指導					
		生徒指導					
	連携・協働	学校づくり					
		夢園・運営					
		危機管理					
素 養	論 理 力	リーダースhip	判断力・指導力	マネジメント	危機管理能力	改革意欲	
資 質	人間関係調整		決断力・対応力		組織運営力		
	自己研鑽		人材育成		組織経営力		

- 指導教諭 … 深化期の指標の「他教員への指導、助言」に比重を置き、教育指導の改善、充実に
関する資質能力のさらなる向上を目指す。
- 主幹教諭 … 校長、副校長及び教頭を助けるとともに、副校長、教頭に求められる資質能力に近
づくことを目指す。
- 管理職候補者… 現在の職種に加え、副校長、教頭に求められる資質能力に近づくことを目指す。

4 本指標の活用等

指標は、香川県教育委員会が行う研修のみならず、市町教育委員会等が行う研修や学校におけるOJT（オンザジョブトレーニング）など、様々な機会をとらえて活用されることが重要です。また、この指標を基に大学等が行う教員養成における目標の設定やカリキュラムの編成と密接な関連を図るなど、養成・採用・研修の関係機関が一体となって、香川の教員等を育成することが求められます。

また、指標そのものは、不変のものではなく、社会環境や教員等に求められるものなどの変化に応じて、不断の見直しを図り、更新していくことが必要です。

■キャリアステージと育成指標

(1) 教諭の指標

観 点		キャリアステ-		
		基礎期	発展期	深化期
目安となる経験年数		1年目～6年目	7年目～20年目	21年目～
素養・資質	使命感・責任感	教員の使命と責任を理解し、法規の遵守や綱紀の保持などに対する意識を高め、教員として必要な倫理観を培う。	ミドルリーダーとしての使命感、責任感と高い倫理観に基づき、法規の遵守や綱紀の保持などを率先して実践する。	他の教員の範となるような確たる倫理観に基づき、法規の遵守や綱紀の保持などについて、使命感、責任感をもって助言する。
	コミュニケーション	教育者としての自覚に基づき、子供や保護者などと適切なコミュニケーションがとれるような社会性を身に付ける。	教育者として自覚をもった発言や行動ができ、円滑なコミュニケーション力や豊かな人間性を身に付ける。	教育者として信頼される発言や行動ができ、自ら範を示すとともに、コミュニケーション能力を生かして、周囲の関係を調整する。
	自己研鑽	管理職や同僚から学ぶ姿勢を持ち、自分を見つめ、自ら進んで課題解決に取り組む。	自己の教育実践を振り返り、課題解決のために教育情報を広く収集し、専門性を高めるための研究と修養に励む。	自己の教育実践を振り返りながら、学校全体を視野に入れた、より効果的な教育活動の実践に取り組む。
知識・技能	子供理解	子供とのかかわりを通して、子供の発達段階や成長の背景、配慮を必要とする子供へのかかわり方を理解する。	子供の発達段階や成長の背景を理解し、子供との関係を深めるとともに、配慮を必要とする子供への対応など、個に応じた適切な理解ができる。	子供に対する豊かな理解力と豊富な指導経験を生かし、子供の個性が発揮できるよう多方面からの配慮ができる。
	学習指導	学習指導に関する基本的な知識や技能を身に付け、先輩教員等の指導を参考にし、計画的に授業づくりや学習評価ができる。	子供の確かな学力を育成するために、専門的な知識や技能をより一層高め、他教員の範となるような学習指導ができる。	子供の確かな学力を育成するために、自ら授業改善に取り組む姿勢をもち、学習指導について他教員に指導や助言ができる。
	生徒指導	子供に自己存在感や自己決定の場を与え、成長を支援するとともに、共感的な人間関係を育成し、計画的に集団づくりへの取組ができる。	子供の自己存在感を高め、成長を促すための適切な支援を行うとともに、共感的な人間関係を育成し、学校全体の教育活動の活性化につながる集団づくりができる。	子供の成長のために多角的な支援を行うとともに、共感的な人間関係の育成に必要なネットワークを機能させ、集団づくりについての指導や助言ができる。
連携・協働	学校づくり	学校の教育目標を理解し、目標達成に向けた自己の役割を自覚し、特色ある学校づくりにおける「チーム学校」の一員として行動する。	学校の教育目標の達成に向けて、「チーム学校」の推進役として積極的にのかかわり、特色ある学校づくりに取り組む。	学校の教育目標達成に向けた取組を総合的に分析し、「チーム学校」の中心となって、特色ある学校づくりのために、学校づくりに貢献する。
	参画・運営	保護者や地域との連携の大切さを理解し、管理職や同僚に報告、連絡、相談をしながら、教員集団の中で自ら進んでかかわりをもつ。	保護者や地域との連携に積極的にのかかわるとともに、他の関係機関等との連携を強化し、協働的な教員集団の中心的な役割を果たす。	保護者、地域、関係機関に対して学校の取組を広報し、校内外における連携強化を図るとともに、協働体制づくりにおいてリーダーシップを発揮する。
	危機管理	学校で起こり得る様々なリスクやトラブルを理解し、それに対応する力を身に付け、安心して安全な学校づくりに取り組む。	学校全体で取り組めるリスクやトラブルに対する未然防止策や対応策を提案し、安心して安全な学校づくりに推進する。	様々なリスクやトラブルに対して学校全体で取り組めるよう、他教員に助言し、安心して安全な学校づくりに関してリーダーシップを発揮する。

(2) 養護教諭の指標

観 点		キャリアステージ		
		基礎期	発展期	深化期
目安となる経験年数		1年目～6年目	7年目～20年目	21年目～
素養・資質	使命感・責任感	教員の使命と責任を理解し、法規の遵守や綱紀の保持などに対する意識を高め、教員として必要な倫理観を培う。	ミドルリーダーとしての使命感、責任感と高い倫理観に基づき、法規の遵守や綱紀の保持などを率先して実践する。	他の教員の範となるような確たる倫理観に基づき、法規の遵守や綱紀の保持などについて、使命感、責任感をもって助言する。
	コミュニケーション	教育者としての自覚に基づき、子供や保護者などと適切なコミュニケーションがとれるような社会性を身に付ける。	教育者として自覚をもった発言や行動ができ、円滑なコミュニケーション力や豊かな人間性を身に付ける。	教育者として信頼される発言や行動ができ、自ら範を示すとともに、コミュニケーション能力を生かして、周囲の関係を調整する。
	自己研鑽	管理職や同僚から学ぶ姿勢をもち、自分を見つめ、自ら進んで課題解決に取り組む。	自己の教育実践を振り返り、課題解決のために教育情報を広く収集し、専門性を高めるための研究と修養に励む。	自己の教育実践を振り返りながら、学校全体を視野に入れた、より効果的な教育活動の実践に取り組む。
知識・技能	子供理解	子供とのかかわりを通して、子供の発達段階や成長の背景、配慮を必要とする子供へのかかわり方を理解する。	子供の発達段階や成長の背景を理解し、子供との関係を深めるとともに、配慮を必要とする子供への対応など、個に応じた適切な理解ができる。	子供の個性が発揮できるよう専門的立場からの配慮ができる。
	保健教育	学校保健に関する基本的な知識や技能を身に付けるとともに、学級担任等との連携を生かした効果的な保健教育が実践できる。	学校保健に関する専門的知識や技能をより一層高めるとともに、健康課題解決のための保健教育を実践、評価、改善し、効果的に推進できる。	学校保健に関する自らの実践を広く情報発信するとともに、専門的知識や技能を学校全体の教育活動に生かし、指導的役割を果たすことができる。
	生徒指導	子供の自己存在感を認め、成長を促すための集団への指導とともに、保護者等の関係者や校内組織と連携しながら、個に応じた支援を行うことができる。	子供が抱える現代的な健康課題の解決に向け、関係者との連携において、コーディネーターとしての役割を果たすことができる。	子供が抱える現代的な健康課題の解決に向けて、様々な関係機関等と連携する上で、コーディネーターとしての役割を果たし、チームで対応することができる。
連携・協働	学校づくり	学校の教育目標を理解し、目標達成に向けた自己の役割を自覚し、特色ある学校づくりにおける「チーム学校」の一員として行動する。	学校の教育目標の達成に向けて、「チーム学校」の推進役として積極的にかかわり、特色ある学校づくりに取り組む。	
	参画・運営	保護者や地域との連携の大切さを理解し、管理職や同僚に報告、連絡、相談をしながら、教員集団の中で自ら進んでかかわりをもつ。	保護者や地域との連携に積極的にかかわるとともに、他の関係機関等との連携を強化し、協働的な教員集団の中心的な役割を果たす。	保護者、地域、関係機関に対して学校の取組を広報し、校内外における連携強化を図るとともに、協働体制づくりにおいてリーダーシップを発揮する。
	危機管理	学校保健や学校安全に関する様々なリスクやトラブルを理解し、それに対応する力を身に付け、安心で安全な学校づくりに取り組む。	学校保健や学校安全に関するリスクやトラブルに対する未然防止策や対応策を提案し、安心で安全な学校づくりを推進する。	学校保健や学校安全に関する様々なリスクやトラブルに対して学校全体で取り組めるよう、他教員に助言し、安心で安全な学校づくりにおいてリーダーシップを発揮する。

(3) 栄養教諭の指標

キャリアステージ 観 点		基礎期	発展期	深化期
		1年目～6年目	7年目～20年目	21年目～
素養・資質	使命感・責任感	教員の使命と責任を理解し、法規の遵守や綱紀の保持などに対する意識を高め、教員として必要な倫理観を培う。	ミドルリーダーとしての使命感、責任感と高い倫理観に基づき、法規の遵守や綱紀の保持などを率先して実践する。	他の教員の範となるような確たる倫理観に基づき、法規の遵守や綱紀の保持などについて、使命感、責任感をもって助言する。
	コミュニケーション	教育者としての自覚に基づき、子供や保護者などと適切なコミュニケーションがとれるような社会性を身に付ける。	教育者として自覚をもった発言や行動ができ、円滑なコミュニケーション力や豊かな人間性を身に付ける。	教育者として信頼される発言や行動ができ、自ら範を示すとともに、コミュニケーション能力を生かして、周囲の関係を調整する。
	自己研鑽	管理職や同僚から学ぶ姿勢をもち、自分を見つめ、自ら進んで課題解決に取り組む。	自己の教育実践を振り返り、課題解決のために教育情報を広く収集し、専門性を高めるための研究と修養に励む。	自己の教育実践を振り返りながら、学校全体を視野に入れた、より効果的な教育活動の実践に取り組む。
知識・技能	子供理解	子供とのかかわりを通して、子供の発達段階や成長の背景、配慮を必要とする子供へのかかわり方を理解する。	子供の発達段階や成長の背景を理解し、子供との関係を深めるとともに、配慮を必要とする子供への対応など、個に応じた適切な理解ができる。	個に応じた適切な理解を基に、子供の個性が発揮できるよう専門的立場からの配慮ができる。
	食に関する指導	職務の専門性を理解し、実践に生かせる知識や技能を身に付け、学校において果たすべき役割を理解し、実践力を身に付ける。 食事摂取基準、学校給食衛生管理基準を理解するとともに、学校給食を生きた教材として活用できる給食管理を行うことができる。	専門的知識や技能をより一層高め、食に関する指導について評価し、改善を図ることができる。 給食管理の評価と改善ができる。	自らの指導実践を広く情報発信するなど、専門的知識や技能を学校全体の教育活動に生かすことができる。 給食管理について、市町等において指導的立場を果たすことができる。
	生徒指導	子供に自己存在感や自己決定の場を与え、成長を支援するとともに、共感的な人間関係を育成し、計画的に集団づくりへの取組ができる。	子供の自己存在感を高め、成長を促すための適切な支援を行うとともに、共感的な人間関係を育成し、学校全体の教育活動の活性化につながる集団づくりができる。	
連携・協働	学校づくり	学校の教育目標を理解し、目標達成に向けた自己の役割を自覚し、特色ある学校づくりにおける「チーム学校」の一員として行動する。	学校の教育目標の達成に向けて、「チーム学校」の推進役として積極的にかかわり、特色ある学校づくりに取り組む。	
	参画・運営	保護者や地域との連携の大切さを理解し、管理職や同僚に報告、連絡、相談をしながら、教員集団の中で自ら進んでかかわりをもつ。	保護者や地域との連携に積極的にかかわるとともに、他の関係機関等との連携を強化し、協働的な教員集団の中心的な役割を果たす。	保護者、地域、関係機関に対して学校の取組を広報し、校内外における連携強化を図るとともに、協働体制づくりに取り組む。
	危機管理	食に関する様々なリスクやトラブルを理解し、それに対応する力を身に付け、安心で安全な学校づくりに取り組む。	食に関するリスクやトラブルに対する未然防止策や対応策を提案し、安心で安全な学校づくりを推進する。	

(4) 管理職（校長・副校長・教頭）の指標

指標の観点		副校長 ・ 教 頭	校 長
素養・資質	倫理観	組織内の法令遵守（コンプライアンス）意識の醸成に努め、教職員の服務管理を適切に行うとともに、自己管理を行う。	
	人間関係調整	子供や保護者、教職員などに対して傾聴の姿勢をもち、相手を理解するとともに適切な対応や助言による信頼関係づくりができる。	子供や保護者、教職員などに対して傾聴の姿勢をもち、適切な対応ができるよう教員を指導するとともに、自らも適切に対応する。
	自己研鑽	国や県、市町の教育施策等に関心をもち、教育実践に与える影響等を分析し、校長が示す教育方針の具現化に活かすことができる。	国や県、市町の教育施策等に関心をもち、学校経営ビジョンを見直し、社会の変化に応じた教育方針を提示することができる。
リーダーシップ	判断力・指導力	教員の能力や実績、意欲などを的確に把握し、校長のビジョンに基づく適正な評価と個に応じた指導を行うことができる。	教職員の能力や実績、意欲などを的確に把握し、適正な評価と個に応じた指導を行うことができる。
	決断力・対応力	様々な教育課題に関わる情報収集などを的確に行い、その解決に向けた方向性を校長に提言するとともに、教職員に対して指導、助言ができる。	様々な教育課題を迅速に把握し、その解決策を明確に示すとともに、教職員に対して指導、助言ができる。
	人材育成	教職員が、自己の能力を十分発揮でき、組織の活力につなげることができるように、指導、助言を行うことができる。	教職員が、自己の能力を十分発揮でき、組織の活力につなげることができるように、指導、助言を行うことができる。
マネジメント	危機管理能力	教職員の危機管理に対する意識を高め、学校安全にかかわる情報を収集するとともに、様々なトラブルに対応できる準備を確実にし、学校全体の体制を整備する。	教職員の危機管理に対する意識を高め、様々なトラブルに対して学校全体で組織的に対応できる体制を構築する。
	組織経営力	校長の経営方針の具現化に向けて、教職員や家庭、地域社会と連携、協働するとともに、校長を適切に補佐することができる。	教育文化の発信源として、家庭や地域、関係機関と連携、協働して学校経営に取り組み、特色ある教育活動を推進することができる。
	改革意欲	学校の教育力向上のために、家庭、地域社会との連携を図りながら、改革に向けての提案と教員の業務改善に努めることができる。	学校の教育力向上のために、地域社会や関係機関との連携を図りながら、チャレンジ精神をもって改革と業務改善に取り組むことができる。

令和4年度 香川県教職員研修計画

基本研修

教職経験に応じた知識・技術の習得など、実践的指導力の向上を図る。

【17講座】

教諭(小中高特)の研修

1年目

初任者研修

- 教員としての使命感や倫理観の醸成
- 学習指導、生徒指導、子供理解等の実践的指導力の育成
- 連携・協働しながら学校づくりに参画する意識の高揚
- *校外研修：小・中15日間 / 高・特18日間
- *校内研修：60日程度

2年目

教職1年経験者研修

- 学習指導を中心とした指導力の向上
- *校外研修：小・中3日間 / 高・特2日間
- *校内研修：小・中2日間 / 高・特1日間

7年目

中堅教諭等資質向上研修Ⅰ

- 学習指導・学級経営を中心としたマネジメント力の向上
- *校外研修：小・中・高・特6日間
- *校内研修：小・中・高・特10日程度

11年目

中堅教諭等資質向上研修Ⅱ

- 専門性を高めるための自己研鑽意欲の向上
- マネジメントの推進力の育成
- *校外研修：小・中7日間 / 高・特6日間
- *校内研修：小・中・高・特10日程度

21年目

教職20年経験者研修

- 経営的視野に立つ識見と指導力の向上
- *校外研修：2日間

教諭(小中高特)以外の教職員研修

1年目

- 初任者研修(幼・こ)
- 新規採用養護教諭研修
- 新規採用栄養教諭研修
- 新規採用実習助手・寄宿舎指導員研修
- 新規採用学校事務職員研修

7年目

- 中堅養護教諭資質向上研修Ⅰ
- 中堅栄養教諭資質向上研修Ⅰ

- 中堅教諭等資質向上研修(幼・こ)

11年目

- 中堅養護教諭資質向上研修Ⅱ
- 中堅栄養教諭資質向上研修Ⅱ

21年目

- 養護教諭20年経験者研修
- 栄養教諭20年経験者研修

基礎期

教員としての基礎を固める

発展期

ミドルリーダーとしての推進力の養成

深化期

熟練教諭としての指導力の養成

職務研修

職責・職能に応じた知識・技能の習得など、職務遂行能力の向上を図る。

新任校長研修会

新任副校長研修会

新任教頭研修会

新任主幹教諭研修会

新任指導教諭研修会

新任教務主任研修会

新任生徒指導主事研修会

等 【29講座】

専門研修

学校のニーズや国・県の施策等を踏まえ、専門的な資質・能力の向上を図る。

学習指導領域

情報教育領域

学校経営領域

生徒指導・教育相談領域

特別支援教育領域

その他の教育課題領域 等

【43講座】

教職大学院連携研修

香川大学教職大学院の科目及び授業の一部と連携し、専門性の向上を図る。

資質・能力を育む教科の授業づくり

道徳科の授業づくり

授業における特別支援教育

ICTを活用した授業づくり

学校の危機管理研究Ⅰ-①・②

【6講座】

その他の研修等

様々な方法で教職員としての資質向上と指導力の充実を図る。

小・中学校教員
長期研修

指導改善研修

公開講演

研修サポート

オンライン
研修

若年教員の
授業力向上

事務局各課の研修